

昨年度評価(H28年度)								
【重点事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_年度目標	3_達成 状況	4_28年度 決算①	5_29年度 予算②	6_差 (②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
15	障がい福祉サービス補助金事業	障害福祉計画において不足する支援が充足される	○	6,500	1,000	-5,500	目標どおりの実施が出来た。	社会福祉課
99	障害者控除認定書発行事業	要支援2及び要介護認定のある人のうち、障害者控除の対象となる人に対し認定書を発行する	○	1,073	420	-653		高齢者福祉課
99	豊明市第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業	介護保険事業計画策定のためのアンケート調査を実施する	○	5,830	4,769	-1,061		
12	地域包括支援センター運営事業	2025年を見据えた総合相談体制を構築する	○	57,343	85,425	28,082	重点事業である施設面の改修や新設、機関の設置については予定通り実施することができた。医療と障がい、介護は一体的に取り組むことが国からも示されており、いわゆる顔の見える関係づくりの強化に向けて、継続して取り組む必要がある。	高齢者福祉課
2	「(仮称)地域医療連携センター」整備事業	地域医療連携センターを整備し、稼働させる	○	26,468	18,126	-8,342		
17	児童館非構造部材耐震化計画策定業務委託	非構造部材耐震化に向け計画の策定業務を委託する	○	3,564	0	-3,564	目標どおりの実施が出来た。	児童福祉課
28	保育園給食業務委託	安定した調理技術及び人員の確保を図る	○	58,107	58,107	0		
28	保育園園舎改修工事	施設の安全性及び保育環境の改善を図る	○	30,290	30,000	-290		
28	利用者支援事業(母子保健型)	特に支援を必要とする方について、医療機関との連携を図る	○	2,756	2,785	29		健康推進課
28	産後ケア事業(訪問型)	タイムリーな時期に赤ちゃん訪問を実施することができる	○	966	987	21		
28	産婦健診事業	産婦健診受診票を対象者へもれなく交付し、受診を促す	○	1,775	2,800	1,025		
99	保健センター内外壁改修工事	予定していた事業が実施でき、契約期間内に安全に改修工事が終了する	○	28,589	0	-28,589		

※事業が関連するめざまちの姿の番号です。

※めざまちの姿No.99は、めざまちの姿関連外事業です。

「2_年度目標」から「6_差」の内容は、各所属の重点事業整理表からの転記です。

昨年度評価(H28年度)							
【主な中施策事業】評価と現状認識							
※	1_事業名	2_進捗状況	3_28年度決算①	4_29年度予算②	5_差(②-①)	6_評価と現状認識	7_所属
15	障がい福祉サービス事業	B	982,531	1,049,175	66,644	以前は多く見られた2世帯同居の世帯から、単独世帯、さらには単身化へと世帯構成が変化していく中で、ひとり親世帯や独居高齢者も増加しており、地域における人と人とのつながりを強化するための施策が求められている。また、外国籍住民との共生についても、さらに進めていく。	社会福祉課
2	医療介護連携推進事業	A	26,467	5,102	-21,365	重点事業である施設面の改修や新設、機関の設置については予定通り実施することができた。医療と障がい、介護は一体的に取り組むことが国からも示されており、いわゆる顔の見える関係づくりの強化に向けて、継続して取り組む必要がある。	高齢者福祉課
12	一般介護予防事業	A	17,443	37,955	20,512	高齢者の介護予防関連事業は、様々な団体の協力により着実に進められている。一方、生きがいづくり対策については、団塊の世代が後期高齢者年齢に入るのは目前であることから、対応が急務となっている。健康寿命の延伸とともに、多様な価値観を持った人々が増える中で、従来にはない新しい発想での事業の立案や、民間サービス等も活用した事業展開なども考えていく。	高齢者福祉課
12	認知症総合推進事業	A	10,790	16,663	5,873		高齢者福祉課
1	家庭児童相談室事業	B	5,617	6,438	821	乳児や児童、障がい者、高齢者に対する相談や不安の解消、虐待等への対応については、件数の大きな伸びはないものの、内容が複雑かつ解決が難しい事例が増えてきており、対応する職員にも高度な知識とスキルが求められている。また、多くの部署や機関が関わるケースが大半であり、関係者同士の意思の疎通や迅速な対応が重要である。今後も、国からの権限等がさらに移譲されてくることが予想されており、迅速かつ柔軟に対応できる組織への改変と専門職の確保が必要となる。	児童福祉課
11	健康づくり事業	B	496	463	-33	まちづくり指標では、全般的に数値は上向き傾向ではあるものの、まだまだ十分とはいえない。特に中高年世代らに対する運動する機会と場を増やし、運動習慣を身につけるための魅力のあるメニューにより参加者をさらに増やしていく必要がある。	健康推進課
33 2	障がい福祉推進事業	A	9,366	1,485	-7,881	障がい者福祉サービスの事業所は増加しており、障がい者雇用の受け皿の整備は、順調に進んできている。一方、高齢者の雇用に関しては、定年延長が一般化しているものの、65歳を過ぎても、まだまだ活躍できる元気な高齢者も増加しており、こうした高齢者の知識や経験を生かせる雇用の場を確保していく必要がある。	社会福祉課
33 12	高齢者生きがいづくり事業	B	7,445	7,453	8		高齢者福祉課
28	保育所管理運営事業	B	949,874	1,203,157	253,283	妊娠期から就学前までの子どもとその親に対して切れ目のない支援を行う体制を平成28年度からスタートしており、一定の成果を挙げている。豊明団地内にも、病後時保育室を開設し、緊急時に対応できる施設を整備した。また、待機児童対策についても、小規模保育事業所の新規参入を促すなど、順調に進めることができた。今後は更なる保育需要が見込まれるため、子ども子育て支援事業計画の見直しも含めて、仕事と子育ての両立ができる環境づくりについて、進めていく必要がある。	児童福祉課
28	母子保健事業	B	88,957	103,704	14,747		健康推進課
28	妊娠出産子育てワンストップ事業	B	5,267	7,998	2,731		健康推進課
28	病後児保育事業	B	10,301	5,555	-4,746		児童福祉課
16	母子・父子家庭医療事業	B	51,963	50,199	-1,764	ひとり親、障がい児者、高齢者、生活困窮者等の不安を解消し、その家族を含めて支えていく環境づくりを進めている。平成28年度からは、生活困窮者に対する学習支援事業をスタートさせた。今後も事業のPRに努めるとともに、まだ実施していないサービス等も含めて、市民に寄り添ったサービスが提供できるように心がけていく。	保険医療課
16	生活困窮者等扶助事業	A	18,088	22,365	4,277		社会福祉課

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。

「2_進捗状況」から「5_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。